

令和4年度一般会計予算について

田食道弘議員

反対

自主財源が23%の財政では政府の事業を取り入れざるを得ない。地域産業と町民の暮らしに真っ向から立ち向かう町政に変革すべきだ。

討論

北村千寿議員

賛成

コロナ禍にあつて経済は停滞している。暮らしと経済に直結した一般会計予算を否決して執行を遅らせることなど許されることはない。

令和4年度国保会計予算について

田食道弘議員

反対

基金残高は1世帯で14万円も残っており、もっと基金を取り崩し、町民が払える国保税に引き下げるべきだ。

討論

北村千寿議員

賛成

令和3年度限りとした1万5千円の減額措置が、令和4年度も1万円の減額が提案されており前進した予算だ。

一般質問 町政のここを聞く

質問者と質問の内容

1 内田 精彦 議員	P9
二段階の入湯税にできないか	
2 石原 武志 議員	P10
地元に就く若者に奨学金制度新設を	
3 高橋 恵美子 議員	P11
マイナンバーカードの普及向上の方策は	
4 田食道弘 議員	P12
持続可能な奥出雲町の人口対策を	
5 糸原文昭 議員	P13
障がい児の支援をどう進めるのか	
6 内田 裕紀 議員	P14
(有)奥出雲椎茸の経営健全化の方針は	
7 景山 利則 議員	P15
キャッシュレス決済できるカード導入は	
8 大垣 照子 議員	P16
ウクライナ避難民受け入れ体制は	
9 北村 千寿 議員	P17
脱炭素の取組みを	
10 小田川 謙一 議員	P18
効率的、効果的な行政サービスの推進を	
11 糸原 壽之 議員	P19
「奥出雲そばの日」記念日制定を	
12 川西 明德 議員	P20
学童保育の施設整備や職員の処遇改善を	

記事の内容 質問時間は30分以内
質問した議員が要約したものを掲載しています。

採決の結果は？

議案のうち、賛否が分かれた議案の採決結果は以下のとおりです。

件 名	結果	大垣 照子	内田 精彦	川西 明德	石原 武志	内田 雅人	景山 利則	糸原 壽之	田食道弘	小田川 謙一	内田 裕紀	糸原文昭	北村 千寿	高橋 恵美子
令和4年度一般会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
令和4年度国保会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
特別職及び教育長の給与等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○
会計年度任用職員の期末手当支給条例の一部改正	可決	●	○	●	○	●	○	○	●	●	○	○	●	○
「再審法改正に向けた審議促進を求める意見書」の提出に関する請願	不採択	○	●	○	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●
「最低賃金の改善と中小企業の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	採択	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○

議長（藤原充博）は採決に加わりません。 ○：賛成 ●：反対



内田 精彦 議員

質問 入湯税の一律

150円を宿泊者の入湯税と休憩・日帰り入湯者の入湯税に差額をつけ2段階税率にできないか。

町長 鉱泉浴場における入湯者の入浴行為に対し課税される税であるので、宿泊者、日帰り客、いずれも入湯する行為は変わらないので入湯税の不均一課税の考えはない。

木次線の存続について

質問 国交省は有識者検討会を開き利用促進策やバスへの転換など、交通網の再構築に関する選択肢について7月をめどにまとめる。またJR西日本の長谷川社長の輸送密度キロ当たり1日平均利用者が2000人以下の区間で優先的にサービスを見直す考えを明らかにした。などの発言からすれば、木次線もその対象になると考えるが今後の取り組みは。

雲横田く備後落合間には18人であり、長谷川社長の発言が今後この区間の廃止を含めた検討をしている可能性を示唆し、大変憂慮している。来年度も木次線利活用

その他の質問

生涯現役証交付事業について

質問

2段階の入湯税にできないか

町長

入湯税の不均一課税の考えはない

質問 トロッコ列車

継続運行断念、新規観光列車あめつち木次線乗り入れ穴道く横田間、横田以南は走らない。全国でもまれな三段式スイッチバック、国道314号のおろちループなどの観光名所を走らないことなど、今後の横田以南の木次線についての考えは。

木次線について

町長 定期列車を活用したラッピングなどの装飾や周遊を高めるための観光振興

木次線について、例えばあめつちが横田駅に到着すると、それを定時列車が待ち受け備後落合へとつなげるなど、スイッチバックを生かした観光振興策をJR、雲南市、庄原市とともに進めていく。また、木次線利活用推進協議会の中に観光誘客プロジェクトを発足し庄原市と連携し横田以南の観光メニューについて今後検討する。

木次線の存続について

町長

木次線の存続

木次線については、JR西日本から正式な申し入れは何もない。木次線の輸送密度は令和元年度190人、2年度は133人に落ち込んでいる、出

JR西日本発表 輸送密度2000人（1日）以下の30線区うち低い7区間

令和4年2月

路線 駅～駅間	営業距離	輸送密度 2019年度	輸送密度 2020年度	備考
東城～落合	25.8キロ	11人	9人	芸備線
横田～落合	29.6キロ	37人	18人	木次線
庄原～落合	23.9キロ	62人	63人	芸備線
神代～東城	18.8キロ	81人	80人	芸備線
穴道～横田	52.3キロ	277人	198人	木次線
三次～落合	45.7キロ	381人	348人	芸備線
三次～下深川	54.6キロ	888人	920人	芸備線
(参考) 穴道～落合	81.9キロ	190人	133人	木次線全線

輸送密度計算式
輸送密度＝年間の輸送人員（人・キロ）÷路線の距離÷365日